

【NEWS RELEASE】

2024年6月14日

各 位

株式会社三井住友銀行
アスエネ株式会社アスエネ株式会社との戦略的資本・業務提携について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下「三井住友銀行」）は、このたびアスエネ株式会社（代表取締役 CEO：西和田 浩平、以下「アスエネ」）と、日本・グローバルにおける企業の脱炭素・サステナビリティ経営の推進を目的として、戦略的資本・業務提携契約を締結いたしました。

三井住友銀行は、2023年10月より、アスエネが開発したサプライチェーンの ESG 評価サービス「ASUENE ESG」提供に関し協働を開始（※1）しておりますが、本提携により、両社における共創の範囲を広げるとともに、取組みを一層加速させてまいります。

グローバル社会の共通目標である 2050 年温室効果ガス（以下「GHG」）排出量実質ゼロの実現に向けては、各企業が自社の現状を把握すること、すなわち GHG 排出量の「見える化」が取組みの第一歩となります。GHG 排出量見える化クラウドサービス（※2）の国内主要事業者であるアスエネと三井住友銀行が協業を深化させることにより、より多くの企業に対してファクト（実績データ）に基づく効果的な脱炭素経営ソリューション等の提供、三井住友銀行が有する幅広い顧客基盤とのビジネスマッチングや各種ファイナンス等、相互の強みを活かしたサービスを提供してまいります。

多くの企業より、可視化した GHG 関連データの活用方法や排出量削減に向けた具体的な対応に関するご相談が増加しております。本提携により、これらの企業の悩みにより一層深く寄り添い、脱炭素・サステナビリティ経営に向けて伴走してまいります。

また、三井住友銀行とアスエネの両社は、マザーマーケットである日本で拡充したサービス基盤を基に、安心して暮らせる地球環境を次世代に引継ぐために、グローバルベースでの企業サポートにこれまで以上に注力してまいります。まずは両社共に高いプレゼンスを持つアジア圏で共創を進めアジア No.1、更にはグローバル市場トップの脱炭素経営パートナーとして認められることを目指します。

三井住友銀行をはじめとする SMBC グループは、中期経営計画「Plan for Fulfilled Growth」において「社会的価値の創造」を経営の柱の一つに据えました。今般のアスエネとの戦略的資本・業務提携により、ますます高度化・複雑化する国内外の顧客企業のサステナビリティ関連ニーズに応え、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

【ご参考】アスエネ株式会社の概要

設立	2019年10月
代表者	代表取締役 CEO 西和田 浩平
会社概要	CO2 排出量見える化・削減・報告クラウドサービス「ASUENE」、ESG 評価クラウドサービス「ASUENE ESG」の提供、カーボンクレジット・排出権取引所「Carbon EX」を運営
ホームページ	https://corp.earthene.com/

(※1) サプライチェーンの ESG 評価サービス提供に関する業務提携契約締結のリリース

https://www.smbc.co.jp/news/pdf/j20231010_01.pdf

(※2) アスエネは導入企業 6,000 社を超える「ASUENE」を、三井住友銀行は導入企業 1,800 社を超える「Sustana (サスタナ)」を提供

(ご参考：Sustana に関するホームページ)

<https://www.smbc.co.jp/hojin/businessassist/sustana/>

以 上